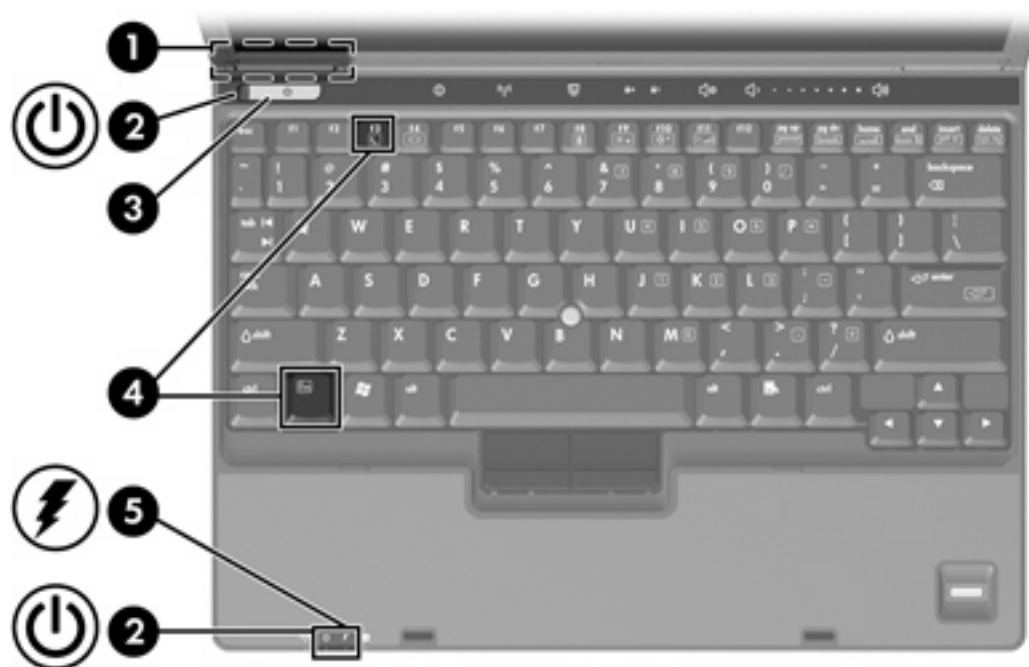
電源

ユーザー ガイド

目次

1　電源スイッチとランプの位置

次の図および表に、電源コントロールとランプの位置を示します。

	名称	説明
(1)	内蔵ディスプレイ スイッチ	ノートブック コンピュータの電源が入った状態でディスプレイを閉じると、電源が切れます。
(2)	電源ランプ* (2)	点灯：コンピュータの電源がオンの状態です。 点滅：コンピュータはスタンバイ状態です。 消灯：コンピュータの電源がオフの状態または休止状態です。
(3)	電源ボタン	コンピュータの電源の状態に応じて、次のように機能します。 ● オフの場合は、このボタンを押すとコンピュータの電源がオンになります。 ● オンの場合は、このボタンを押すと休止状態になります。

名称		説明
		● スタンバイ状態の場合は、このボタンを短く押すとスタンバイが終了します。 ● 休止状態の場合は、このボタンを短く押すと休止状態が終了します。 コンピュータが応答しなくなったために Microsoft® Windows® のシャットダウン手順を実行できない場合、コンピュータの電源をオフにするには、電源ボタンを 5 秒以上押し続けます。
(4)	Fn+F3 キー	スタンバイを開始します。
(5)	バッテリ ランプ	黄色： バッテリ パックは充電中です。 緑： バッテリ パックは、ほぼ完全に充電されています。 黄色の点滅： 電源にバッテリ パックのみを使用している場合にローバッテリ状態になると、バッテリ ランプが点滅します。*完全な*ローバッテリ状態になると、バッテリ ランプが高速に点滅し始めます。 消灯： コンピュータが外部電源に接続されている場合、コンピュータに装着されているすべてのバッテリ パックが完全に充電されると、このランプは消灯します。コンピュータが外部電源に接続されていない場合、ローバッテリ状態になってもこのランプは消灯したままです。

*2 つの電源ランプがあり、 どちらも同じ情報を表示します。電源ボタンのランプが見えるのは、コンピュータを開いているときのみです。その他の電源ランプはコンピュータ前面の常に見える場所にあります。

2 電源

このコンピュータは内部または外部 AC 電源でも動作します。次の表は、一般的な作業に適した電源を示しています。

注記 古い AC アダプタは使用できません。

作業	推奨される電源
ソフトウェアの使用	● コンピュータに装着した充電済みバッテリ パック ● 以下のデバイスのいずれかで供給される外部電源： 　● コンピュータに付属の AC アダプタ 　● 別売のドッキング デバイス 　● 別売電源アダプタ
バッテリ パックの充電または調整	以下の外部電源 ● コンピュータに付属の AC アダプタ ● 別売のドッキング デバイス ● 別売電源アダプタ **警告！** 飛行機の機内では、バッテリ パックを充電しないでください。
システム ソフトウェアのインストールや変更、または CD や DVD への書き込み	以下の外部電源 ● コンピュータに付属の AC アダプタ ● 別売のドッキング デバイス ● 別売電源アダプタ

AC アダプタへの接続

警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

コンピュータへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをコンピュータからではなくコンセントから抜いてください。

安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。2 ピンのアダプタを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。適切に接地していないと感電する可能性があります。

コンピュータを外部 AC 電源に接続するには、次の手順を行います。

1. AC アダプタをコンピュータの電源コネクタ **(1)** に接続します。
2. 電源コードを AC アダプタ **(2)** に接続します。
3. 電源コードの反対側の端を AC コンセント **(3)** に接続します。

3　スタンバイと休止状態

スタンバイおよび休止状態は、電源を節約し、起動時間を短縮する省電力機能であり、 手動または自動で起動できます。詳細については、「スタンバイ、休止状態、またはシャットダウンの開始」を参照してください。

スタンバイ

注意　バッテリの完全な放電を避けるため、スタンバイ状態を長時間続けないでください。コンピュータを外部電源に接続してください。

スタンバイ時は、使用中でないシステム コンポーネントの消費電力が低下します。スタンバイを開始すると、作業中のデータはランダム アクセス メモリ (RAM) に保存され、画面が消去されます。コンピュータがスタンバイ状態の場合、電源ランプが点滅します。スタンバイから復帰すると、画面は作業を中止する前の状態に戻ります。

注意　情報の消失を防ぐため、スタンバイを開始する前に作業データを保存してください。

休止状態

注意　休止状態のときにコンピュータの設定を変更すると、休止状態から復帰できなくなる場合があります。コンピュータが休止状態のときは、以下の注意事項を守ってください。

別売のドッキング デバイスにコンピュータをドッキングまたはドッキング解除しないでください。

メモリ モジュールの増設や取り外しを行わないでください。

ハード ドライブまたは光ディスク ドライブの挿入や取り出しを行わないでください。

外付けデバイスを接続または切断しないでください。

外付けメディア カードの挿入や取り出しを行わないでください。

休止状態では、作業中のデータはハード ドライブ上の休止状態ファイルに保存され、コンピュータがシャットダウンされます。電源ランプはオフになります。休止状態から復帰すると、画面は作業を中止する前の状態に戻ります。電源投入時パスワードが設定されている場合、休止状態からの復帰時にパスワードを入力する必要があります。

注意　情報の消失を防ぐため、休止状態を開始する前に作業データを保存してください。

休止状態は無効にすることができます ただし、無効にすると、ローバッテリ状態のとき、電源がオンの間、またはスタンバイが開始したときに作業データは自動保存されません。

休止状態を再度有効にするには、Microsoft® Windows® の [コントロール パネル] の **[電源オプション]** を使用します。

▲ **[スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション > 休止状態]** タブを選択します。

[休止状態を有効にする] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。

休止状態を開始するまでの時間を設定するには、次の手順を行います。:

1. **[スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション]** を選択します。
2. **[システム休止状態]** 一覧から時間をクリックします。

スタンバイ、休止状態、またはシャットダウンの開始

ここでは、スタンバイ、休止状態、およびシャットダウンを実行するタイミングについて説明します。

注記　コンピュータがスタンバイまたは休止状態の間は、一切のネットワーク通信やコンピュータ操作を開始できません。

作業を一時中断するとき

スタンバイを開始すると、作業中のデータはランダム アクセス メモリ (RAM) に保存され、画面が消去されます。コンピュータがスタンバイ状態の場合、電源オン状態のときよりも電力消費が少なくなります。スタンバイから復帰すると、画面はすぐに作業時の状態に戻ります。

休止状態を開始すると、作業中のデータはハード ドライブ上の休止状態ファイルに保存され、コンピュータがシャットダウンされます。休止状態では、スタンバイ状態のときよりもさらに消費電力が少なくなります。

コンピュータを長期間使わず、外部電源から切断する場合、コンピュータをシャットダウンし、バッテリ パックを取り外すとバッテリ パックの寿命が延びます。バッテリ パックの保管についての詳細は、「バッテリ パックの保管」を参照してください。

安定した電源がないとき

特に、外部電源を使用できず、コンピュータをバッテリ電源で使用している場合には、休止状態が有効になっていることを確認してください。休止状態でバッテリ パックが故障した場合、作業中のデータは休止状態ファイルに保存され、コンピュータがシャットダウンされます。

電源が不明な場合は、作業を中断するときに以下のいずれかの操作を実行してください。

- 作業データを保存してからスタンバイを開始する。
- 休止状態を開始する。
- コンピュータをシャットダウンする。

無線通信 (一部のモデルのみ)、または読み取りまたは書き込み可能メディア (一部のモデルのみ)の使用時

注意 オーディオおよびビデオの劣化や再生機能の損失を防ぐため、CD、DVD、外付けメディア カードの読み取りまたは書き込み中にスタンバイまたは休止状態を開始しないでください。情報の消失を防ぐため、CD、DVD、外付けメディア カードの読み取りまたは書き込み中にスタンバイまたは休止状態を開始しないでください。

スタンバイおよび休止状態は、Bluetooth® と WLAN 通信機能の使用、およびメディアと干渉します。以下の点に注意してください。

- コンピュータがスタンバイまたは休止状態の場合、Bluetooth または WLAN 通信を開始できません。
- メディア (CD、DVD、外付けメディア カードなど) の再生中に誤ってスタンバイまたは休止状態を開始した場合、次のことが発生します。
  - 再生が中断する場合があります。
  - 「コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?」という警告メッセージが表示される場合があります。**[いいえ]** をクリックします。
  - メディアを再起動し、オーディオまたはビデオの再生を再開しなければならない場合があります。

4 デフォルトの電源設定

ここでは、デフォルトのスタンバイ、休止状態、およびシャットダウンの手順について説明します。コンピュータの電源機能の変更についての詳細は、「電源オプション」を参照してください。

この章で説明しているコントロールやランプの図については、「電源スイッチとランプの位置」を参照してください。

コンピュータまたはディスプレイ電源のオン/オフの切り替え

作業	手順	結果
コンピュータの電源を入れる。	電源ボタンを押します。	● 電源ランプが点灯します。 ● オペレーティング システムがロードされます。
コンピュータをシャットダウンする。*	1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのアプリケーションを閉じます。 2. オペレーティング システムで **[スタート > 終了オプション > 電源を切る]*** を選択して、コンピュータをシャットダウンします。 **注記** システムが応答しなくなり、上記の手順でシャットダウンできない場合は、「緊急シャットダウンの手順」を参照してください。	● 電源ランプがオフになります。 ● オペレーティング システムがシャットダウンされます。 ● コンピュータの電源がオフになります。
電源オンの状態でディスプレイをオフにする。	コンピュータを閉じます。	コンピュータを終了すると、ディスプレイ スイッチが動作してスタンバイが開始されます。
*ネットワーク ドメインに登録している場合、**[コンピュータの終了]** ではなく、**[シャットダウン]** をクリックします。		

緊急シャットダウンの手順

注意　緊急シャットダウンの手順を実行すると、保存していない情報は失われます。

コンピュータが応答しなくなり、Windows の通常のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の手順に従って緊急シャットダウンしてください。

- Ctrl+Alt+Del キーを押し、**[シャットダウン > 電源を切る]** を選択します。
- 電源ボタンを 5 秒以上押し続けます。
- コンピュータを外部電源から切断し、バッテリ パックを取り外します。バッテリ パックの取り外しおよび保管についての詳細は、「バッテリ パック」を参照してください。

スタンバイの開始またはスタンバイからの復帰

作業	手順	結果
スタンバイを開始する。	• コンピュータの電源をオンにして、Fn+F3 キーを押します。 • **[スタート > コンピュータの終了 > スタンバイ]*** を選択します。 Windows XP Professional で **[スタンバイ]** が表示されない場合： a. 下矢印をクリックします。 b. 一覧から **[スタンバイ]** を選択します。 c. **[OK]** をクリックします。	• 電源ランプが点滅します。 • 画面が消去されます。
自動スタンバイを開始する。	操作は不要です。 • コンピュータをバッテリ電源で使用している場合、スタンバイはコンピュータが非アクティブになってから 10 分後に開始されます (デフォルト設定)。 • コンピュータを外部電源に接続している場合、スタンバイはコンピュータが非アクティブになってから 25 分後に開始されます (デフォルト設定)。 **注記** 電源設定およびタイムアウトは Windows コントロール パネルの [電源オプション] で変更できます。	• 電源ランプが点滅します。 • 画面が消去されます。
ユーザーが開始したスタンバイまたは自動的に開始したスタンバイから復帰する。	電源ボタンを押します。	• 電源ランプが点灯します。 • 画面は作業時の状態に戻ります。

*ネットワーク ドメインに登録している場合、**[コンピュータの終了]** ではなく、**[シャットダウン]** をクリックします。

休止状態の開始または休止状態からの復帰

休止状態を開始するには、まず休止状態を有効にする必要があります。休止状態はデフォルトで有効になっています。

休止状態が有効になっているかどうかを確認するには、**[スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション > 休止状態]** タブを選択します。休止状態が有効な場合は、**[休止状態を有効にする]** チェック ボックスがオンになっています。

作業	手順	結果
休止状態を開始する。	• 電源ボタンを押します。 - または - • **[スタート > コンピュータの終了]*** を選択し、 Shift キーを押しながら **[休止状態]** を選択します。 Windows XP Professional で [休止状態] が表示されない場合： a. 下矢印をクリックします。 b. 一覧から **[休止状態]** を選択します。 c. **[OK]** をクリックします。	• 電源ランプがオフになります。 • 画面が消去されます。
休止状態を自動的に開始する (休止状態が有効な場合)。	操作は不要です。コンピュータをバッテリ電源で実行している場合は、以下のいずれかの場合に休止状態が開始されます。 • コンピュータが非アクティブになってから 30 分後 • バッテリ パックが完全なローバッテリ状態になったとき **注記** 電源設定およびタイムアウトは Windows コントロール パネルの [電源オプション] で変更できます。	• 電源ランプがオフになります。 • 画面が消去されます。
ユーザーが開始した休止状態または自動的に開始した休止状態から復帰する。	電源ボタンを押します。†	• 電源ランプが点灯します。 • 画面は作業時の状態に戻ります。

*ネットワーク ドメインに登録している場合、**[コンピュータの終了]** ではなく、**[シャットダウン]** をクリックします。

†深刻なローバッテリ状態になったために休止状態が開始された場合は、外部電源を接続するか、充電済みのバッテリ パックを装着してから電源ボタンを押してください (放電したバッテリ パックのみを電源に使用している場合、システムは応答しない可能性があります)。

5　電源オプション

多くのデフォルト電源設定は Windows のコントロール パネルで変更できます。たとえば、警告音を設定してバッテリ パックのローバッテリ時に警告したり、電源ボタンのデフォルト設定を変更したりすることができます。

コンピュータの電源がオンの場合、デフォルトで以下のように動作します。

- Fn+F3 キーを押すと、オペレーティング システムからスリープ ボタンが呼び出され、スタンバイが開始されます。
- デフォルトでは、ディスプレイの画面表示がオフになり、スタンバイが開始されます。ディスプレイを閉じると、ディスプレイ スイッチがアクティブになります。

注記　HP モバイル データ プロテクションによってドライブの動作が一時的に停止した場合、スタンバイまたは休止状態は開始されず、ディスプレイはオフになります。

[電源オプションのプロパティ] の表示

[電源オプションのプロパティ] を表示するには、次の手順を行います。

- タスクバーの右端にある通知領域の **[電源メーター]** アイコンを右クリックし、**[電源プロパティの調整]** をクリックします。

  - または -

- **[スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション]** を選択します。

[電源メーター] アイコンの表示

デフォルトでは、**[電源メーター]** アイコンがタスクバーの右端にある通知領域に表示されます。コンピュータがバッテリ電源で動作している場合と外部電源で動作している場合でアイコンの形が変わります。

[電源メーター] アイコンを通知領域から削除するには、次の手順を行います。

1. 通知領域の **[電源メーター]** アイコンを右クリックし、**[電源プロパティの調整]** をクリックします。
2. **[詳細設定]** タブをクリックします。
3. **[アイコンをタスク バーに常に表示する]** チェック ボックスをオフにします。
4. **[適用]** をクリックし、**[OK]** をクリックします。

[電源メーター] アイコンを通知領域に表示するには、次の手順を行います。

1. **[スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション]** を選択します。
2. **[詳細設定]** タブをクリックします。
3. **[アイコンをタスク バーに常に表示する]** チェック ボックスをオンにします。
4. **[適用]** をクリックし、**[OK]** をクリックします。

注記　タスクバーの右端の通知領域に配置したアイコンが表示されない場合、通知領域の [隠れているインジケータを表示します] アイコン (**[<]** または **[<<]**) をクリックします。

電源オプションの設定または変更

[電源オプションのプロパティ] ダイアログ ボックスの [電源設定] タブで、システム コンポーネントに電源レベルを割り当てます。コンピュータをバッテリで使用するか、外部電源で使用するかに応じて異なる設定を割り当てることができます。

電源設定で、指定した時間を経過した後にスタンバイを開始したり、ディスプレイやハード ドライブをオフにしたりすることもできます。

電源オプションを設定するには、次の手順を行います。

1. 通知領域の **[電源メーター]** アイコンを右クリックし、**[電源プロパティの調整]** をクリックします。
2. **[電源設定]** タブをクリックします。
3. 変更する電源設定を選択し、一覧のオプションを調整します。
4. **[適用]** をクリックします。

セキュリティ プロンプトの設定

セキュリティ機能を追加して、コンピュータの電源を入れたとき、あるいはスタンバイまたは休止状態からの復帰時にパスワードの入力を要求することができます。

パスワード プロンプトを設定するには、次の手順を行います。

1. 通知領域の **[電源メーター]** アイコンを右クリックし、**[電源プロパティの調整]** をクリックします。
2. **[詳細設定]** タブをクリックします。
3. **[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]** チェック ボックスをオンにします。
4. **[適用]** をクリックします。

6　プロセッサのパフォーマンス コントロール

注意　過熱の原因となるので、通気孔をふさがないでください。コンピュータは固い平らな面で使用してください。プリンタなどの硬い物や、クッション、厚い敷物、布などの柔らかい物で通風口がふさがれないようにしてください。過熱によりコンピュータが損傷したり、プロセッサのパフォーマンスが低下する可能性があります。

注記　バッテリ電源より外部電源を使用した方が動作が高速になる場合があります。バッテリ電源のバッテリ容量が著しく低下すると、節電のためにプロセッサの速度やグラフィックスのパフォーマンスが低下する場合があります。

Windows XP では、電源設定の選択によりプロセッサのパフォーマンス コントロールを管理できます。パフォーマンスと節電のバランスがとれた処理速度を設定できます。

プロセッサのパフォーマンス コントロールは **[電源オプションのプロパティ]** ダイアログ ボックスで管理します。

Windows XP のプロセッサ パフォーマンス コントロールを表示するには、次の手順を行います。

▲　**[スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション]** を選択します。

選択した電源設定により、コンピュータを外部電源に接続した場合またはバッテリ電源に接続した場合のプロセッサの動作が決まります。外部電源またはバッテリ電源の各電源設定で個別のプロセッサの状態を設定します。

電源オプションを設定した後は、コンピュータ プロセッサのパフォーマンスを制御するための操作は不要です。次の表は、電源設定に応じた外部電源およびバッテリ電源のプロセッサ パフォーマンスを示しています。

電源設定	外部電源使用時のプロセッサ パフォーマンス	バッテリ電源使用時のプロセッサ パフォーマンス
自宅または会社のデスク	常に最大限のパフォーマンスで動作します。	パフォーマンス状態は CPU 要求に応じて決まります。
ポータブル/ラップトップ (デフォルト) *	パフォーマンス状態は CPU 要求に応じて決まります。	パフォーマンス状態は CPU 要求に応じて決まります。
プレゼンテーション	パフォーマンス状態は CPU 要求に応じて決まります。	パフォーマンス状態は CPU 要求に応じて決まります。
常にオン	常に最大限のパフォーマンスで動作します。	常に最大限のパフォーマンスで動作します。

電源設定	外部電源使用時のプロセッサ パフォーマンス	バッテリ電源使用時のプロセッサ パフォーマンス
最小限の電力の管理	パフォーマンス状態は CPU 要求に応じて決まります。	パフォーマンス状態は CPU 要求に応じて決まります。
バッテリの最大利用	パフォーマンス状態は CPU 要求に応じて決まります。	[バッテリの最大利用] をオンにすると、CPU パフォーマンスが低下しますが、バッテリの寿命が長くなります。

* [ポータ ブル/ラップトップ] の電源設定を使用することをお勧めします。

7　バッテリ パック

充電済みのバッテリ パックが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピュータはバッテリ電源で動作します。外部 AC 電源に接続されている場合、コンピュータは AC 電源で動作します。

充電済みのバッテリ パックを装着したコンピュータが AC アダプタから供給される外部 AC 電源で動作している場合、AC アダプタを取り外すと、電源がバッテリ電源に切り替わります。

注記　AC 電源を取り外すと、ディスプレイの輝度が自動的に低下してバッテリが節電されます。ディスプレイの輝度を上げるには、Fn+F10 のホットキーを使用するか、AC アダプタを再接続します。

作業環境に応じて、バッテリ パックをコンピュータに装着しておくことも、ケースに保管することも可能です。コンピュータを外部 AC 電源に接続している間、常にバッテリ パックを装着していれば、バッテリ パックの充電が可能であり、停電のときに作業データが保護されます

が、コンピュータの電源がオフのときや、外部電源に接続されていないとき、バッテリ パックは徐々に放電します。

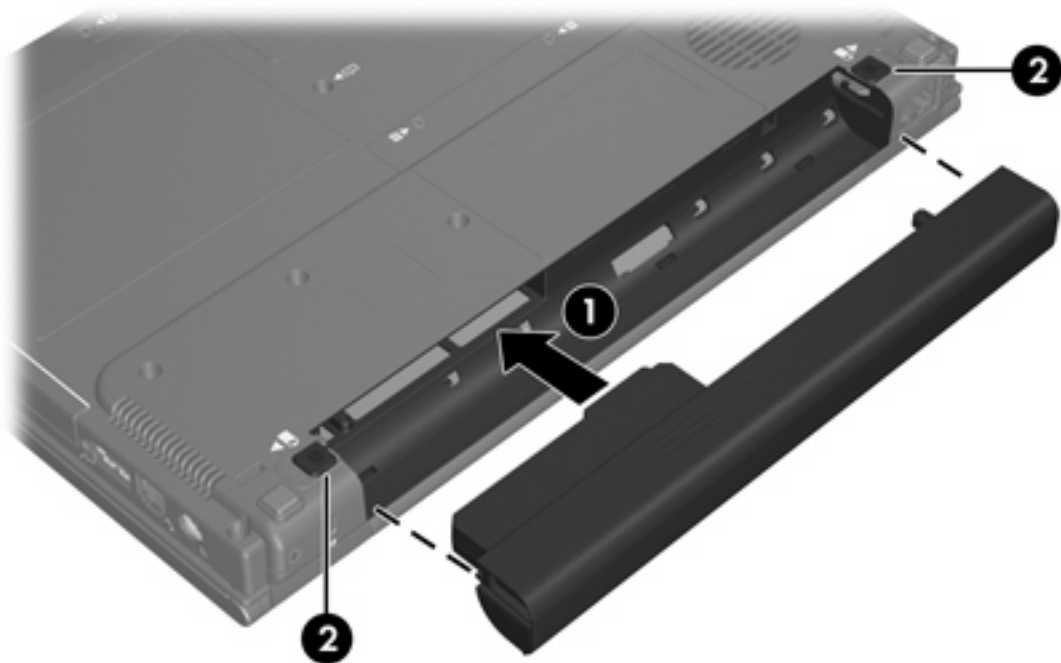
バッテリ パックの取り付けまたは取り外し

注意 1 つのバッテリ パックのみをコンピュータの電源として使用しているときに、そのバッテリ パックを取り出す場合は、データの消失を防ぐため、休止状態を開始するかコンピュータの電源を切ってから作業を行ってください。

注記 バッテリ パックの外観は機種によって異なります。

バッテリ パックを取り付けるには、次の手順を行います。

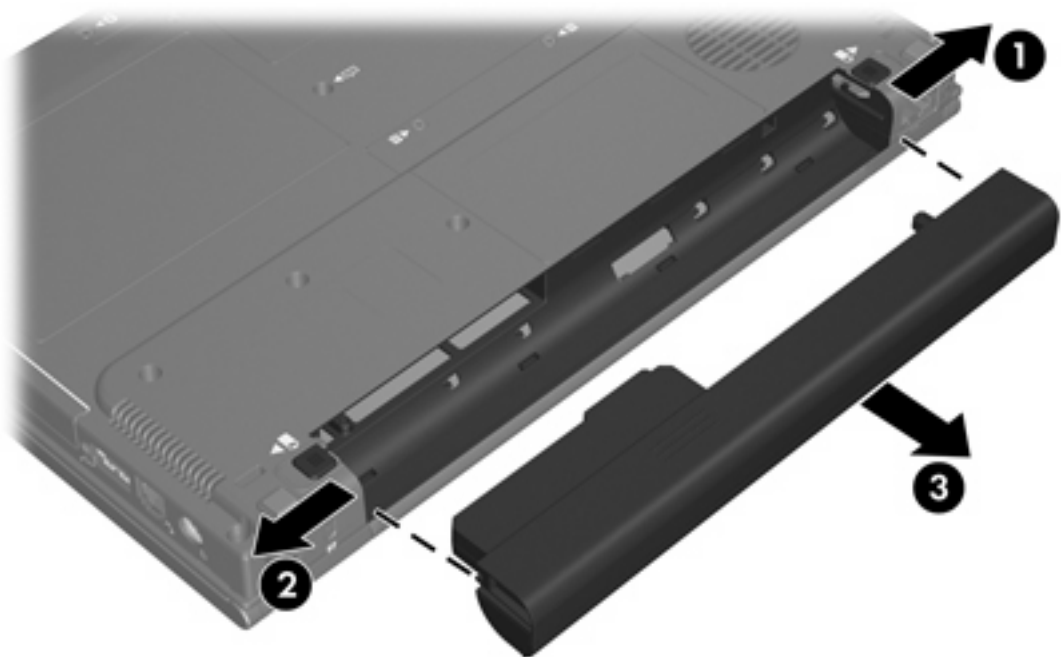
1. バッテリ ベイを手前にしてコンピュータを裏返し、平らな面に置きます。
2. バッテリ パック **(1)** をバッテリ ベイにスライドさせて装着します。

   バッテリ パック リリース ラッチ **(2)** でバッテリ パックが自動的に固定されます。

バッテリ パックを取り外すには、次の手順を行います。

1. バッテリ ベイを手前にしてコンピュータを裏返し、平らな面に置きます。
2. 右側のバッテリ パック リリース ラッチ **(1)** をスライドさせてから、左側のバッテリ パック リリース ラッチ **(2)** をスライドさせて、バッテリ パックを解放します。

   注記 両方のバッテリ パック リリース ラッチを同時にスライドさせることも可能です。

3. バッテリ パックをコンピュータから取り外します (3)。

バッテリ パックの充電

バッテリの寿命を延ばし、バッテリ残量が正確に表示されるようにするには、以下のことに注意してください。

警告！ 飛行機の機内では、バッテリ パックを充電しないでください。バッテリ パックを充電すると、機内の電子システムに悪影響を及ぼす可能性があります。

- 新しいバッテリ パックを充電する場合、以下のことに注意してください。
  - バッテリ パックの充電は、コンピュータを外部電源に AC アダプタで接続した状態で行ってください。
  - バッテリ パックを充電するときは、コンピュータの電源を入れる前に完全に充電してください。
- 使用中のバッテリ パックを充電する場合、以下のことに注意してください。
  - 通常の使用で完全充電時の 10 パーセント程度になるまでバッテリパックを放電してから充電してください。
  - バッテリ パックを充電するときは、コンピュータの電源を入れる前に完全に充電してください。

コンピュータに装着したバッテリ パックは、コンピュータが AC アダプタ、別売のドッキング デバイス、または別売電源アダプタで外部電源に接続している間、常に充電されます。

バッテリ パックは、コンピュータの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が充電が早く完了します。バッテリパックが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリ パックの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリ ランプに以下のように充電状態が表示されます。

- 点灯： バッテリ パックは充電中です。
- 点滅： バッテリ パックはローバッテリ状態になっています。充電は行われていません。
- 高速に点滅： バッテリ パックは完全なローバッテリ状態になっています。充電は行われていません。
- 消灯： バッテリ パックの充電が完了しているか、バッテリ パックが装着されていない状態です。

バッテリ パックの残量確認についての詳細は、「バッテリ パックの充電監視」を参照してください。

バッテリ パックの充電監視

ここでは、バッテリ残量の確認方法について説明します。

正確な充電情報の表示

すべてのバッテリ充電インジケータを正確に表示するには、以下のことに注意してください。

- 通常の使用で完全充電時の 10 パーセント程度になるまでバッテリパックを放電してから充電してください。
- バッテリ パックを充電するときは、コンピュータの電源を入れる前に完全に充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリ パックは、充電する前に調整してください。バッテリ ゲージの調整手順についての詳細は、「バッテリ ゲージの調整」を参照してください。

充電情報の画面表示

ここでは、バッテリ充電インジケータの表示方法と読み方を説明します。

充電情報の表示

コンピュータに装着したバッテリ パックの状態について情報を表示するには、以下のいずれかの操作を行います。

- タスクバーの右端にある通知領域の **[電源メーター]** アイコンをダブルクリックします。

  - または -

- **[スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション > 電源メーター]** タブを選択します。

充電情報の読み方

ほとんどの場合、充電情報には、バッテリの状態がバッテリ残量のパーセントと残りの使用可能時間 (分) で示されます。

- パーセントは、バッテリ パック内の電力の大まかな残量を示します。
- 時間は、*現在のレベルでバッテリ パックの電力を使い続けた場合に*バッテリ パックを使用できる推定残り時間を示します。たとえば、DVD の再生を開始すると残り時間が短くなり、停止すると残り時間が長くなります。

充電中、[電源メーター] 画面のバッテリ アイコンの上に稲妻の形のアイコンが表示されます。

ローバッテリ状態への対処

ここでは、出荷時設定の警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ローバッテリ状態の警告とシステム応答の設定は、Windows コントロール パネルの [電源オプション] で変更できます。[電源オプション] ウィンドウでの設定は、ランプの状態には影響しません。

ローバッテリ状態の詳細

ここでは、ローバッテリおよび完全なローバッテリの状態を判断する方法について説明します。

ローバッテリ状態

コンピュータの電源としてバッテリ パックのみを使用しているときに、バッテリ パックがローバッテリ状態になると、バッテリ ランプが黄色で点滅します。

完全なローバッテリ

ローバッテリ状態を解決しないと、完全なローバッテリ状態に入り、バッテリ ランプが高速に点滅します。

完全なローバッテリ状態になると、システムは次のように応答します。

- 休止状態が有効で、コンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、休止状態が開始されます。
- 休止状態が無効で、コンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、短い時間スタンバイ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存していない情報は失われます。

休止状態が有効になっていることを確認するには、次の手順を行います。

1. **[スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション > 休止状態]** タブを選択します。
2. **[休止状態を有効にする]** チェック ボックスがオンになっていることを確認します。

ローバッテリ状態の解決

注意　コンピュータが完全なローバッテリ状態になり、休止状態が開始された場合は、電源ランプが消灯するまで電源を入れないでください。

外部電源が使用可能な場合

外部電源が使用できる場合にローバッテリ状態を解決するには、以下のいずれかを接続します。

- AC アダプタ
- 別売のドッキング デバイス
- 別売電源アダプタ

充電済みのバッテリ パックが使用可能な場合

充電済みバッテリ パックを使用できる場合にローバッテリ状態を解決するには、次の手順を行います。

1. コンピュータの電源を切るか、休止状態を開始します。
2. 充電済みバッテリ パックを装着します。
3. コンピュータの電源を入れます。

電源が使用できない場合

電源が使用できない場合にローバッテリ状態を解決するには、次の手順を行います。

- 休止状態を開始します。

  - または -

- 作業中のデータを保存してコンピュータをシャットダウンします。

休止状態から復帰できない場合

休止状態を終了するための電力がコンピュータに残っていない場合にローバッテリ状態を解決するには、次の手順を行います。

1. 充電済みのバッテリパックを装着するか、コンピュータを外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを短く押して、休止状態を終了します。

バッテリ ゲージの調整

調整するタイミング

バッテリ パックを頻繁に使用している場合でも、1 か月に 2 回以上バッテリ ゲージを調整する必要はありません。また、新しいバッテリ パックを初めて使用する前にバッテリ ゲージを調整する必要はありません。バッテリ ゲージの調整は、以下の場合に必要です。

- バッテリ充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリの通常の動作時間が極端に変化した場合
- バッテリパックを 1 か月以上使用していない場合

バッテリ ゲージの調整方法

バッテリ ゲージを調整するには、 バッテリパックを完全に充電し、完全に放電してから、再び完全に充電します。

手順 1: バッテリパックの充電

バッテリ パックは、コンピュータの電源が入っているかどうかにかかわらず充電できますが、電源を切ったときの方が充電が早く完了します。

警告！ 飛行機の機内では、バッテリ パックを充電しないでください。バッテリ パックを充電すると、機内の電子システムに悪影響を及ぼす可能性があります。

バッテリ パックを充電するには、次の手順を行います。

1. コンピュータにバッテリ パックを取り付けます。
2. コンピュータを AC アダプタ、別売電源アダプタ、または別売のドッキング デバイスに接続し、そのアダプタまたはデバイスを外部電源に接続します。

   コンピュータのバッテリ ランプが点灯します。
3. バッテリ パックが完全に充電されるまで、コンピュータを外部電源に接続しておきます。

   充電が完了すると、コンピュータのバッテリ ランプが消灯します。

手順 2: バッテリパックの放電

バッテリ パックを完全に放電する前に、休止状態を無効にします。

休止状態を無効にするには、次の手順を行います。

1. **[スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション > 休止状態]** タブを選択します。
2. **[休止状態を有効にする]** チェック ボックスをオフにします。
3. **[適用]** をクリックします。

バッテリ パックの放電中は、コンピュータの電源を入れたままにする必要があります。バッテリパックは、コンピュータを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が放電が早く完了します。

- 放電中にコンピュータを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 放電中にコンピュータをときどき使用し、省電力設定を利用していた場合、放電処理中はシステムの動作が次のようになります。
  - モニタが自動的にオフになりません。
  - コンピュータがアイドル状態のときでも、ハード ドライブの速度が自動的に低下しません。
  - システムによる休止状態の開始が実行されません。

バッテリ パックを完全に放電するには、次の手順を行います。

1. タスクバーの右端にある通知領域の **[電源メーター]** アイコンを右クリックし、**[電源プロパティの調整]** をクリックします。

   - または -

   [スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション] を選択します。
2. バッテリ ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[バッテリ使用] 列と [電源に接続] 列の 4 つの設定をメモしておきます。
3. これら 4 つのオプションをすべて **[なし]** に設定します。
4. **[OK]** をクリックします。
5. コンピュータを外部電源から切断します。ただし、コンピュータの電源は*切らないでください*。
6. バッテリ パックが完全に放電するまで、バッテリ電源でコンピュータを動作させます。バッテリ パックをローバッテリ状態になるまで放電すると、バッテリ ランプが黄色で点滅し始めます。バッテリ パックが完全に放電すると、バッテリ ランプが消灯して、コンピュータの電源が切れます。

手順 3: バッテリ パックの再充電

バッテリ パックを再充電するには、次の手順を行います。

1. コンピュータを外部電源に接続して、バッテリ パックが完全に再充電されるまで接続したままにします。充電が完了すると、コンピュータのバッテリ ランプが消灯します。

   バッテリ パックの再充電中でもコンピュータは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。

2. コンピュータの電源を切っていた場合は、バッテリ パックが完全に充電されてバッテリ ランプが消灯した後で、コンピュータの電源を入れます。
3. **[スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション]** を選択します。
4. **[電源に接続]** 列と **[バッテリ使用]** 列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
5. **[OK]** をクリックします。

注意　バッテリ ゲージの調整後は休止状態を再び有効にしてください。休止状態を有効にしないと、完全になくなるまでバッテリ電力を消費し続けてデータが失われる恐れがあります。

休止状態を再び有効にするには、**[スタート > コントロール パネル > パフォーマンスとメンテナンス > 電源オプション > 休止状態]** タブを選択します。次に、**[休止状態を有効にする]** チェック ボックスをオンにし、**[適用]** をクリックします。

バッテリの節電

以下に示すバッテリ節電方法および設定に従うと、1 回の充電でのコンピュータの動作時間を長くすることができます。

作業中の節電

コンピュータの使用時に節電するには、次の手順を行います。

- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続と LAN 接続をオフにして、モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されておらず、使用していない外付けデバイスを取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り外します。
- 取り付けられているデジタル カードを無効にするか、取り外します。
- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、Fn+F10 および Fn+F9 のホットキーを使用します。
- 内蔵スピーカの代わりに、別売の電源付きスピーカーを使用します。または、必要に応じてシステム警告音の音量を調節します。
- 画面をコンピュータ ディスプレイから外付けディスプレイ デバイスに切り替えるには、Fn+F4 キーを押します。
- しばらく作業しないときは、スタンバイまたは休止状態を開始するか、コンピュータをシャットダウンします。

節電の設定

コンピュータの節電を設定するには、次の手順を行います。

- スクリーン セーバーが起動するまでの時間を短くし、グラフィックスや動きが少ないスクリーン セーバーを選択します。

  スクリーン セーバーの設定を表示するには、次の手順を行います。

  [スタート > コントロール パネル > 表示とテーマ > スクリーン セーバーを選択する] を選択します。

- オペレーティング システムの [電源設定] で省電力設定を選択します。詳細については、「電源オプションの設定または変更」を参照してください。

バッテリ パックの保管

警告！ 危険なので、コンピュータに付属のバッテリ パック、HP から提供されている交換バッテリ パック、または HP 製の付属品として販売されている互換バッテリ パック以外は使用しないでください。

注意 故障の原因となるので、バッテリ パックを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2 週間以上コンピュータを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリ パックを取り出して別々に保管します。

保管中にバッテリ パックが放電するのを抑えるには、バッテリ パックを気温や湿度の低い場所に保管します。

1 か月以上保管したバッテリ パックを使用するときは、最初にバッテリ ゲージの調整を行ってください。

使用済みバッテリ パックの廃棄

警告！ 化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリ パックをつぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、接点をショートさせたり、水や火の中に捨てたりしないでください。さらに、60°C より高温の環境に放置しないでください。交換の際は、このコンピュータでの使用が認定されているバッテリ パックだけを使用してください。

バッテリ パックの廃棄については、『*規定、安全、および環境に関するご注意*』を参照してください。

索引